CONVANO

2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月16日

上 場 会 社 名	株式会社コンヴァノ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6574	URL	https://www.convano.com/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	上四元　絢
問合せ先責任者	（役職名） 執行役員	（氏名）	藤田　真也　　(TEL) 03-3770-1190
半期報告書提出予定日	2026年11月16日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	15,382	299.1	4,189	127.4	4,223	119.3	2,453	94.3	2,539	101.2	2,453	94.3
2026年３月期中間期	3,853	154.7	1,842	―	1,925	―	1,262	―	1,262	―	1,262	―

	基本的１株当たり中間利益	希薄化後１株当たり中間利益
	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	50.93	50.93
2026年３月期中間期	28.33	28.15

（注）１．当社は、2025年８月２日及び2025年９月１日付で普通株式１株につき10株の株式分割（合計１株につき100株）を行っております。
２．当社は、当中間連結会計期間末日後の2026年11月１日を効力発生日として普通株式10株につき１株の割合で株式併合を行っております。「基本的１株当たり中間利益」及び「希薄化後１株当たり中間利益」は、前連結会計年度の期首に上記１．の株式分割及び当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	20,003	13,176	12,882	64.4
2026年３月期	18,984	10,734	10,734	56.5

（注）2026年３月期の数値は、過年度の誤謬の修正再表示後の数値を記載しております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	0.00	―	1.00	1.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	10.00	10.00

(注)１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

２．2026年11月１日付で普通株式10株につき１株の割合で株式併合を実施しております。2027年３月期（予想）の期末の１株当たり配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式併合を考慮しない場合の2027年３月期（予想）の期末の１株当たり配当金は1.00円、年間配当金合計は1.00円となります。

３．2026年３月期期末配当金の原資は、その他資本剰余金であります。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,752	72.4	8,957	560.1	9,000	664.9	5,820	―	5,820	―	120.73

(注)１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

２．連結業績予想における基本的１株当たり当期利益は、2026年11月１日付で実施した株式併合（普通株式10株につき１株）が当連結会計年度の期首に行われたと仮定し、2026年10月に実施した自己株式の取得の影響を考慮した期中平均株式数により算定しております。

３．対前期増減率は、過年度の誤謬の修正再表示を反映した2026年３月期の連結業績を基礎として算定しております。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：有

新規　3社（社名）アクセルマーク株式会社、アクセルメディカ株式会社、株式会社crafty　、除外　ー社（社名）　ー

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年３月期中間期	50,915,600株	2026年３月期	50,915,600株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,052,019株	2026年３月期	1,052,010株
③　期中平均株式数(中間期)	2027年３月期中間期	49,863,588株	2026年３月期中間期	44,569,851株

※ 当社は、2025年８月２日及び2025年９月１日付で普通株式１株につき10株の株式分割を行っており、また、当中間連結会計期間末日後の2026年11月１日を効力発生日として普通株式10株につき１株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割及び当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※　「期末自己株式数」には、連結子会社である日本美容・ヘルスケア成長投資１号組合が保有する当社株式（併合後1,000,000株）を含んでおります。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

（過年度の誤謬の修正再表示について）

当社は、2026年３月期の連結財務諸表における誤謬を修正し、比較情報を修正再表示しております。詳細は、添付資料P.15「２．要約中間連結財務諸表及び主な注記（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項（過年度の誤謬の修正再表示）」をご覧ください。

（端数処理の変更について）

当社は従来、金額の端数処理を表示単位未満四捨五入としておりましたが、「2027年３月期　第１四半期決算短信」より表示単位未満を切り捨てて記載することに変更しました。当該変更に伴い、比較情報についても切り捨てへ組み替えて表示しております。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 5
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 6
２．要約中間連結財務諸表及び主な注記 …… 7
（１）要約中間連結財政状態計算書 …… 7
（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 …… 9
要約中間連結損益計算書 …… 9
要約中間連結包括利益計算書 ……10
（３）要約中間連結持分変動計算書 ……11
（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……13
（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項 ……15
（継続企業の前提に関する注記） ……15
（過年度の誤謬の修正再表示） ……15
（セグメント情報） ……16
（１株当たり利益） ……19
（重要な後発事象） ……20

１．当中間決算に関する定性的情報

「２．要約中間連結財務諸表及び主な注記（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項（過年度の誤謬の修正再表示）」に記載のとおり、当社は、2026年３月期の連結財務諸表における当社グループのコンサルティング事業の売上原価等に一部計上漏れがあったことが判明したため、遡って修正する必要があると判断し、比較情報を修正再表示しております。

本資料（サマリー情報を含みます。）における前連結会計年度末の数値及び通期連結業績予想の対前期増減率は、当該修正再表示を反映した数値に基づいております。

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループの業績につきましては、売上収益は15,382百万円（前年同期比299.1％増）、営業利益は4,189百万円（前年同期比127.4％増）、税引前中間利益は4,223百万円（前年同期比119.3％増）、中間利益は2,453百万円（前年同期比94.3％増）となりました。

当中間連結会計期間は、コンサルティング事業において前連結会計年度に連結子会社となった株式会社ＤａｔａＳｔｒａｔｅｇｙの通期寄与等により売上収益が大幅に拡大し、ヘルスケア事業においても高単価製剤等の取扱高の増加により増収増益となったことから、連結では大幅な増収増益となりました。一方、ＡＩ事業はサービス開発体制の構築等に係る先行投資により、アクセルマーク事業はトレーディングカード相場の急落等により、それぞれ損失を計上し、インベストメント＆アドバイザリー事業は前年同期に計上した一時的な収益がなくなったことにより減収となり、損失を計上いたしました。また、その他の費用として、暗号資産の売却損295百万円及び評価損24百万円並びに店舗資産に係る減損損失96百万円を計上しております。なお、当中間連結会計期間より、ＡＩ関連サービスの提供開始及びアクセルマーク株式会社の連結子会社化に伴い、報告セグメントとして「ＡＩ事業」及び「アクセルマーク事業」を追加しております。前中間連結会計期間の数値は、変更後の報告セグメント区分に基づき記載しております。

＜ＡＩ事業＞

当中間連結会計期間は、医療機関向けＡＩエージェントシステムの提供を開始いたしました。一方、サービスの開発体制の構築及び導入先の獲得に向けた先行投資を実施したことにより、損失を計上いたしました。

＜コンサルティング事業＞

当中間連結会計期間は、前連結会計年度に連結子会社となった株式会社ＤａｔａＳｔｒａｔｅｇｙの通期寄与等により、売上収益が前年同期と比較して大幅に増加いたしました。また、利益についても前年同期と比較して増加いたしました。

＜ヘルスケア事業＞

当中間連結会計期間は、Perky Squad社との提携を通じてサプライチェーンの高度化を進めました。2026年８月以降、高単価製剤等の取扱数及び取扱高が増加し、需要シグナルに連動した出荷の同期化を通じて利益が向上いたしました。この結果、売上収益及び利益が前年同期と比較して増加いたしました。

＜インベストメント＆アドバイザリー事業＞

当中間連結会計期間は、前年同期に計上した投資先株式の譲渡に伴う利得（子会社の支配喪失益）及び暗号資産に係るオプション収益がなくなったことにより、売上収益が前年同期と比較して大幅に減少いたしました。また、保有していた暗号資産の売却損295百万円及び評価損24百万円を計上したことにより、損失を計上いたしました。

＜アクセルマーク事業＞

2026年７月２日にアクセルマーク株式会社及びその子会社２社を連結の範囲に含めたことにより、同日以降の業績を取り込んでおります。当中間連結会計期間は、トレーディングカード相場の急落に伴うトレーディングカード事業の赤字幅の拡大及び店舗資産に係る減損損失の計上により、同事業において損失を計上いたしました。

＜ネイル事業＞

当中間連結会計期間は、需要予測に基づくシフト最適化を前倒しで進めたことにより、ピーク時間帯の席稼働が改善し、売上収益が前年同期と比較して増加いたしました。一方、利益は前年同期と比較して減少いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①ＡＩ事業

(業績)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
売上収益	－	75	75
セグメント利益(△は損失)	－	△151	△151

②コンサルティング事業

(業績)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
売上収益	337	10,783	10,445
セグメント利益	89	3,285	3,195

③ヘルスケア事業

(業績)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
売上収益	557	2,386	1,829
セグメント利益	348	1,672	1,323

④インベストメント&アドバイザリー事業

(業績)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
売上収益	1,496	64	△1,432
セグメント利益(△は損失)	1,362	△312	△1,675

⑤アクセルマーク事業

(業績)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
売上収益	－	248	248
セグメント利益(△は損失)	－	△247	△247

⑥ネイル事業

(業績)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
売上収益	1,553	1,855	302
セグメント利益	145	31	△114

（２）財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当中間連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9,224百万円増加し、16,883百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が8,537百万円増加したことなどによるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ8,205百万円減少し、3,119百万円となりました。これは主に、暗号資産が8,423百万円減少したことなどによるものであります。その結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ1,018百万円増加し、20,003百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,488百万円減少し、6,239百万円となりました。これは主に、社債が1,500百万円減少、未払法人所得税等が1,042百万円減少したことなどによるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ64百万円増加し、586百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が36百万円増加、リース負債が20百万円増加したことなどによるものであります。その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,424百万円減少し、6,826百万円となりました。

（資本）

資本は、前連結会計年度末に比べ2,442百万円増加し、13,176百万円となりました。これは主に、親会社の所有者に帰属する中間利益2,539百万円を計上したこと、及びアクセルマーク株式会社を連結の範囲に含めたことにより非支配持分380百万円を認識したこと（非支配持分に帰属する中間損失86百万円等を控除した当中間連結会計期間末の非支配持分は293百万円）によるものであり、配当金498百万円がこれを一部相殺しております。

なお、当中間連結会計期間において、2026年６月27日開催の第13回定時株主総会の決議に基づき、資本金の額5,189百万円及び資本準備金の額5,229百万円を減少し、これらの合計額10,419百万円をその他資本剰余金に振り替えております（効力発生日　2026年９月４日）。また、2026年９月30日開催の臨時株主総会の決議に基づき、その他資本剰余金4,311百万円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補に充当しております。これらはいずれも資本内の振替であり、資本合計に変動はありません。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ8,537百万円増加し、12,790百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は2,711百万円（前中間連結会計期間は913百万円の収入）となりました。これは主に、法人所得税等の支払額又は還付額2,761百万円があったものの、税引前中間利益を4,223百万円計上したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は8,244百万円（前中間連結会計期間は9,551百万円の支出）となりました。これは主に、無形資産の売却による収入8,098百万円及び子会社の取得による収入148百万円を計上したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2,417百万円（前中間連結会計期間は10,072百万円の収入）となりました。これは主に、社債の償還による支出1,500百万円、配当金の支払額496百万円及び長期借入金の返済による支出275百万円を計上したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度(2026年４月１日から2027年３月31日まで)の通期連結業績予想は、2026年５月15日に公表いたしました数値から変更はありません。

当中間連結会計期間の業績は、通期連結業績予想に対して概ね想定の範囲内で推移しております。

２．要約中間連結財務諸表及び主な注記

（１）要約中間連結財政状態計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
	(修正再表示後)	
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,252,236	12,790,001
営業債権及びその他の債権	2,383,365	3,810,967
棚卸資産	88,937	184,702
有価証券	705,523	－
未収法人所得税等	9,970	－
その他の流動資産	219,370	97,785
流動資産合計	7,659,404	16,883,456
非流動資産		
有形固定資産	145,662	135,692
使用権資産	612,565	600,623
のれん	672,696	755,799
暗号資産	8,766,742	342,809
その他の無形資産	500,176	492,864
繰延税金資産	292,693	313,875
その他の金融資産	331,849	471,413
その他の非流動資産	3,064	6,731
非流動資産合計	11,325,452	3,119,809
資産合計	18,984,856	20,003,266
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,628,596	2,124,137
借入金	569,641	302,599
社債	1,500,000	－
未払法人所得税等	2,753,154	1,710,596
リース負債	240,539	284,627
その他の流動負債	1,026,855	1,817,802
引当金	9,331	－
流動負債合計	7,728,118	6,239,764
非流動負債		
借入金	23,318	13,316
リース負債	370,831	390,889
その他の非流動負債	18,675	19,275
引当金	89,854	107,062
繰延税金負債	20,016	56,350
非流動負債合計	522,696	586,894
負債合計	8,250,815	6,826,658
資本		
資本金	5,239,924	50,000
資本剰余金	5,784,995	6,272,882
利益剰余金	△56,706	6,793,469

自己株式	△239,109	△239,121
その他の資本の構成要素	4,936	5,647
親会社の所有者に帰属する持分合計	10,734,041	12,882,877
非支配持分	―	293,730
資本合計	10,734,041	13,176,608
負債及び資本合計	18,984,856	20,003,266

（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	3,853,856	15,382,430
売上原価	1,293,890	9,212,186
売上総利益	2,559,965	6,170,244
販売費及び一般管理費	695,857	1,501,079
その他の収益	3,761	10,669
その他の費用	25,811	490,428
営業利益	1,842,058	4,189,405
金融収益	89,316	46,559
金融費用	5,729	12,247
税引前中間利益	1,925,645	4,223,717
法人所得税費用	663,180	1,770,487
中間利益	1,262,464	2,453,229
中間利益の帰属		
親会社の所有者	1,262,464	2,539,696
非支配持分	－	△86,466
中間利益	1,262,464	2,453,229
親会社の所有者に帰属する１株当たり中間利益（円）		
基本的１株当たり中間利益	28.33	50.93
希薄化後１株当たり中間利益	28.15	50.93

要約中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間利益	1,262,464	2,453,229
その他の包括利益合計	－	－
中間包括利益	1,262,464	2,453,229
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,262,464	2,539,696
非支配持分	－	△86,466
中間包括利益	1,262,464	2,453,229

（３）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2025年４月１日残高		10,000	571,432	1,161,855	△125	－	1,743,163	－	1,743,163
中間利益		－	－	1,262,464	－	－	1,262,464	－	1,262,464
中間包括利益合計		－	－	1,262,464	－	－	1,262,464	－	1,262,464
新株予約権の発行及び行使		5,229,924	5,197,775	－	－	－	10,427,700	－	10,427,700
自己株式の取得		－	－	－	△328	－	△328	－	△328
新規連結による変動額		－	－	－	△176,926	－	△176,926	－	△176,926
株式報酬取引		－	2,879	－	－	－	2,879	－	2,879
所有者との取引額等合計		5,229,924	5,200,654	－	△177,255	－	10,253,323	－	10,253,323
2025年９月30日残高		5,239,924	5,772,087	2,424,320	△177,380	－	13,258,951	－	13,258,951

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2026年４月１日残高（修正再表示後）		5,239,924	5,784,995	△56,706	△239,109	4,936	10,734,041	－	10,734,041
中間利益		－	－	2,539,696	－	－	2,539,696	△86,466	2,453,229
中間包括利益合計		－	－	2,539,696	－	－	2,539,696	△86,466	2,453,229
新株予約権の発行		－	5,000	－	－	－	5,000	－	5,000
子会社の新株予約権の失効		－	500	－	－	－	500	△500	－
自己株式の取得		－	－	－	△11	－	△11	－	△11
配当金		－	△498,635	－	－	－	△498,635	－	△498,635
株式報酬取引		－	102,287	－	－	－	102,287	－	102,287
資本金から資本剰余金への振替		△5,189,924	5,189,924	－	－	－	－	－	－
資本剰余金から利益剰余金への振替		－	△4,311,189	4,311,189	－	－	－	－	－
新規連結による変動額		－	－	－	－	－	－	380,697	380,697
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		－	－	△710	－	710	－	－	－
所有者との取引額等合計		△5,189,924	487,886	4,310,478	△11	710	△390,860	380,197	△10,662
2026年９月30日残高		50,000	6,272,882	6,793,469	△239,121	5,647	12,882,877	293,730	13,176,608

（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	注記	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前中間利益		1,925,645	4,223,717
減価償却費及び償却費		138,568	182,207
有価証券損益(△は益)		△16,626	57,332
子会社の支配喪失に伴う利益		△1,279,186	－
減損損失		－	96,926
株式報酬費用		2,879	102,287
暗号資産評価損及び売却損		－	320,052
金融収益		△89,316	△46,559
金融費用		5,729	12,247
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)		94,871	△1,373,251
棚卸資産の増減額(△は増加)		△35,355	△312
未収還付法人所得税等の増減額（△は増加）		22,528	132
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)		76,235	453,252
未払消費税等の増減額(△は減少)		△7,508	△147,544
未払給与の増減額(△は減少)		26,535	17,308
未払賞与の増減額(△は減少)		△972	15,148
未払有給休暇の増減額(△は減少)		△20,967	9,525
資産除去債務の履行による支出		△4,588	－
預り金の増減額(△は減少)		4,512	803,405
長期未収入金の増減額(△は増加)		－	△12,174
売買目的有価証券の増減額(△は増加)		－	648,191
その他		114,980	112,747
小計		957,964	5,474,640
利息の受取額		7,149	8,019
利息の支払額		△3,481	△10,228
法人所得税等の支払額又は還付額（△は支払）		△47,660	△2,761,237
営業活動によるキャッシュ・フロー		913,971	2,711,194
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		△10,611	△5,413
無形資産の取得による支出		△10,410,496	－
無形資産の売却による収入		－	8,098,969
敷金及び保証金の差入による支出		－	△105
貸付金の回収による収入		－	2,720
有価証券の取得による支出		△9,780	－
有価証券の売却による収入		47,807	－
子会社の取得による収入		70,246	148,196
子会社の支配喪失による収入		761,435	－
投資活動によるキャッシュ・フロー		△9,551,400	8,244,368

財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△50,009	―
長期借入金の返済による支出	△595,002	△275,002
株式の発行による収入	10,401,100	―
新株予約権の発行による収入	26,600	5,000
自己株式の取得による支出	△328	△11
配当金の支払額	―	△496,576
リース負債の返済による支出	△107,021	△151,207
社債の発行による収入	4,897,000	―
社債の償還による支出	△4,500,000	△1,500,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,072,338	△2,417,798
現金及び現金同等物の増減額	1,434,909	8,537,764
現金及び現金同等物の期首残高	806,173	4,252,236
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,241,083	12,790,001

（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（過年度の誤謬の修正再表示）

（１）修正再表示の内容について

会計監査人による期中レビュー手続の過程で、2026年３月期の連結財務諸表における当社グループのコンサルティング事業の主に売上原価に一部計上漏れ（2026年３月期の第４四半期において245,696千円（税抜））があったことが判明いたしました。これらは当社グループのコンサルティング事業の売上収益に対応する売上原価が網羅的に収集できていなかったことによる誤謬であります。

当社は、会計監査人による指摘を踏まえ、上記の誤謬について遡って修正する必要があると判断し、前連結会計年度の連結財務諸表を修正再表示しております。

（２）修正再表示に伴う主な影響

		前連結会計年度 （2026年３月31日）		影響額
		（修正再表示前）	（修正再表示後）	
総資産額	（千円）	18,896,397	18,984,856	88,459
資本合計	（千円）	10,891,467	10,734,041	△157,425
親会社の所有者に帰属する持分	（千円）	10,891,467	10,734,041	△157,425
親会社所有者帰属持分比率	（%）	57.6	56.5	△1.1

（３）表示期間より前の期間に与える主な累積的な影響額

表示期間のうち最も古い期間である前中間連結会計期間の期首（2025年４月１日）の資本に対する影響はありません。なお、上記の修正再表示により、当中間連結会計期間の期首（2026年４月１日）の利益剰余金は157,425千円減少しております。

（４）その他未了事項

当該誤謬に関連する財務数値及び訂正内容の確定後、2026年3月期の有価証券報告書の訂正報告書を遅滞なく提出する予定ですが、現時点で当該有価証券報告書は訂正しておりません。

(セグメント情報)

(１) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定及び業績評価のため定期的に検討を行う区分であります。

当中間連結会計期間よりＡＩ関連サービスの提供を開始したことに伴い「ＡＩ事業」を、2026年７月２日付でアクセルマーク株式会社及びその子会社を連結の範囲に含めたことに伴い「アクセルマーク事業」を、それぞれ報告セグメントとして追加しております。

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの報告セグメントは、「ＡＩ事業」「コンサルティング事業」「ヘルスケア事業」「インベストメント&アドバイザリー事業」「アクセルマーク事業」及び「ネイル事業」の６区分となっております。

〈ＡＩ事業〉

―医療機関向けＡＩエージェントシステムの開発及び提供

〈コンサルティング事業〉

― 戦略・方針策定から導入支援、保守運用を提供するコンサルティングなど

〈ヘルスケア事業〉

― 医薬品等の輸入代行を中心とした医療関連サービス

〈インベストメント&アドバイザリー事業〉

― 投資及びM&Ａファイナンシャルアドバイザリー

〈アクセルマーク事業〉

―トレーディングカード・広告・ビューティー&ウェルネス関連の商品販売及びサービスの提供

〈ネイル事業〉

― 直営・ＦＣ店舗でのネイル施術／ネイルケア商品の販売

＜セグメント利益の算定方針＞

セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益と同一の基準に基づき算定しております。したがって、金融収益、金融費用及び法人所得税費用は、セグメント利益に含まれておりません。各報告セグメントに帰属するその他の収益及びその他の費用は、当該セグメントのセグメント利益に含めております。なお、セグメント利益の合計額と要約中間連結損益計算書の営業利益との差異である調整額には、各報告セグメントに帰属しない全社費用、各報告セグメントに帰属しないその他の収益及びその他の費用並びにセグメント間取引の消去が含まれております。

（２）報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 2025年４月１日　至 2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント							調整(消去・全社)	要約中間連結財務諸表計上額
	ＡＩ事業	コンサルティング事業	ヘルスケア事業	インベストメント&アドバイザリー事業	アクセルマーク事業	ネイル事業	合計		
売上収益									
外部顧客への売上収益	－	245,980	557,169	1,496,888	－	1,553,818	3,853,856	－	3,853,856
セグメント間の売上収益	－	91,658	－	－	－	－	91,658	△91,658	－
計	－	337,638	557,169	1,496,888	－	1,553,818	3,945,514	△91,658	3,853,856
セグメント利益	－	89,969	348,839	1,362,612	－	145,472	1,946,893	△104,835	1,842,058
金融収益									89,316
金融費用									5,729
税引前中間利益									1,925,645
その他の項目									
減価償却費及び償却費	－	257	59	460	－	137,789	138,568	－	138,568
減損損失	－	－	－	－	－	－	－	－	－

(注)１．セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

２．複数の報告セグメントに共通して発生する費用は、売上収益(又は人員数等)を基準として各報告セグメントに配賦しております。

当中間連結会計期間（自 2026年４月１日　至 2026年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント							調整（消去・全社）	要約中間連結財務諸表計上額
	ＡＩ事業	コンサルティング事業	ヘルスケア事業	インベストメント&アドバイザリー事業	アクセルマーク事業	ネイル事業	合計		
売上収益									
外部顧客への売上収益	75,199	10,752,462	2,386,692	64,068	248,155	1,855,852	15,382,430	－	15,382,430
セグメント間の売上収益	－	30,745	－	－	－	－	30,745	△30,745	－
計	75,199	10,783,207	2,386,692	64,068	248,155	1,855,852	15,413,175	△30,745	15,382,430
セグメント利益(△は損失)	△151,778	3,285,779	1,672,623	△312,485	△247,797	31,224	4,277,566	△88,161	4,189,405
金融収益									46,559
金融費用									12,247
税引前中間利益									4,223,717
その他の項目									
減価償却費及び償却費	－	1,046	464	－	14,353	166,342	182,207	－	182,207
減損損失	－	－	－	－	96,926	－	96,926	－	96,926

（注）１．セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

２．複数の報告セグメントに共通して発生する費用は、売上収益(又は人員数等)を基準として各報告セグメントに配賦しております。

（１株当たり利益）

（１）基本的１株当たり中間利益

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
親会社の所有者に帰属する中間利益 （千円）	1,262,464	2,539,696
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	44,569,851	49,863,588
基本的１株当たり中間利益（円）	28.33	50.93

（２）希薄化後１株当たり中間利益

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
親会社の所有者に帰属する中間利益 （千円）	1,262,464	2,539,696
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	44,569,851	49,863,588
希薄化後普通株式の加重平均株式数(株)	44,848,285	49,863,588
希薄化後１株当たり中間利益（円）	28.15	50.93

（注）１．当社は、2025年８月２日及び2025年９月１日付で普通株式１株につき10株の株式分割を、当中間連結会計期間末日後の2026年11月１日付で普通株式10株につき１株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割及び株式併合が行われたと仮定して基本的１株当たり中間利益及び希薄化後１株当たり中間利益を算定しております。

２．当中間連結会計期間の希薄化後１株当たり中間利益の算定において、新株予約権は行使の条件（業績条件及び株価条件）を満たしていないため、算定から除外しております。

（重要な後発事象）

（株式併合及び定款の一部変更）

当社は、2026年８月24日開催の取締役会において、株式併合及び定款の一部変更に係る議案を2026年９月30日開催の臨時株主総会に付議することを決議し、同臨時株主総会において承認可決されたことに基づき、2026年11月１日を効力発生日として、普通株式10株につき１株の割合で株式併合を実施いたしました。

１．目的

投資単位の金額を東京証券取引所が望ましいとする水準に調整するためであります。

２．併合の割合　　普通株式10株につき１株

３．効力発生日　　2026年11月１日

４．発行済株式総数　　併合前　509,156,000株　／　併合後　50,915,600株

５．発行可能株式総数　併合前　1,733,984,000株　／　併合後　173,398,400株

６．１株に満たない端数の取扱い

会社法第235条の規定に基づき、１株に満たない端数の合計数に相当する株式を処分し、その処分代金を端数の割合に応じて株主に交付いたします。

７．１株当たり情報に及ぼす影響

当該株式併合が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定した１株当たり情報は、注記「（１株当たり利益）」に記載のとおりであります。

また、2026年９月30日開催の臨時株主総会の決議に基づき、単元未満株式の売渡請求に係る定款の一部変更を行っており、2026年11月１日にその効力が発生しております。

（自己株式の取得）

当社は、2026年８月24日開催の取締役会において、会社法第156条第１項、第160条第１項及び第161条の規定に基づき、特定の株主である株式会社ディメンショナルから市場外の相対取引により自己株式を取得する議案を2026年９月30日開催の臨時株主総会に付議することを決議し、同臨時株主総会において承認可決されました。これを受け、2026年10月16日開催の取締役会において会社法第157条第１項に基づく取得条件を決議し、2026年10月21日に取得を完了いたしました。

１．取得した株式の種類　　当社普通株式

２．取得した株式の総数　37,289,600株（株式併合前の株式数。株式併合後の株式数に換算すると3,728,960株）

３．取得価額の総額　　3,728,960千円

４．取得日　　2026年10月21日

５．取得資金　　保有していた暗号資産の売却代金を充当しております。

６．取得後の自己株式の保有状況（2026年10月21日現在。株式併合前の株式数）

発行済株式総数（自己株式を含む）　509,156,000株

自己株式　37,809,799株

発行済株式総数（自己株式を除く）471,346,201株

（注）上記の自己株式数は当社が保有する株式数であり、連結子会社である日本美容・ヘルスケア成長投資１号組合が保有する当社株式（株式併合前10,000,000株）は含んでおりません。なお、当該株式はＩＡＳ第32号第33項に基づき、要約中間連結財務諸表上は自己株式として処理しております。

（自己株式の消却）

当社は、2026年11月13日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、上記により2026年10月21日に取得した自己株式の全部を消却することを決議いたしました。

１．消却する株式の種類　当社普通株式

２．消却する株式の総数　3,728,960株（消却前の発行済株式総数に対する割合　7.32％）

３．消却予定日　2026年11月30日

４．消却後の発行済株式総数　47,186,640株

５．連結財務諸表に与える影響

本消却は資本の内訳の振替であり、資本合計及び2027年３月期の連結業績に与える影響はありません。

（注）上記２．及び４．の株式数は、2026年11月１日付の株式併合（普通株式10株につき１株）後の株式数であります。